

ハンドブックの使い方

本ハンドブックを効果的にご利用いただくために、活用方法を以下に示しました

チェックシートで課題を発見し、解決の糸口を得る

これから課題を見つけようとする方や、すでに課題を把握している方も、まずは「人材・組織チェックシート」(☞図表 1-1 p.5) によるチェックを行ってください。

チェックシートで、課題となるテーマを確認し、対応する基本的アプローチや課題解決事例を参照のうえ、自社での取組(仕組みやルールづくり等)や運用方法の検討を行う際の手がかりを見つけてください。人材・組織に係る取組状況等の自社の「現状」を的確に把握し、将来の「あるべき姿」を明確に描くことは、課題を解決するための目標設定や具体的取組へとつながります。

索引の活用

本ハンドブックの巻末には索引があります。索引は辞書のようにご利用いただき、わかりにくい用語や項目等がありましたら索引から本文を参照してください。

*** 専門家が課題解決を支援します ***

人材の確保、定着、育成等に係る課題の整理、解決策の検討、制度・仕組みの構築、解決策の実施等について、専門家や支援機関を活用し、アドバイス等のフォローを受けることは、有効な解決手段の一つです。

【主な支援機関】

- ◆公益財団法人東京都中小企業振興公社 (☞ p.105)
 - ワンストップ総合相談窓口
 - 人材確保・育成総合支援事業(人材ナビゲータ)
- ◆東京都労働相談情報センター (☞ p.105)
- ◆東京しごとセンター (☞ p.106)
- ◆東京都立職業能力開発センター (☞ p.106)

その他、関係機関・支援機関と支援の概要(☞ p.105～)をご覧ください。

本文中の指示記号について

本ハンドブックでは、本文中に「☞図表 1-1 p.1」や「PDCA: ☞ p.2」の表記があります。これは参照する図表や参照ページを示しています。

☞図表 1-1 p.1 …… 1 ページの図表 1-1 を参照してください。

PDCA: ☞ p.2 …… PDCA については 2 ページを参照してください。